

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

② 施設・事業所情報

名称：大曽根コスモス保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：脇山 恵子	定員（利用人数）：50名（51名）
所在地：横浜市港北区大曽根2-32-8	
TEL：045-633-8605	ホームページ：https： //www.ohsonecosmos-hoikuen.jp/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2020年3月30日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 コスモス福祉会	
職員数	常勤職員：13名 非常勤職員：11名
専門職員	園長・副園長 2名 保育士 5名
	主任・副主任 3名 調理員 3名・子育て支援員 1名
	保育士 7名・栄養士 1名 事務員 2名
施設・設備の概要	（居室数）
	（設備等）
	乳児室 1室 ・ 幼児室 1室 建物の構造 RC造り 2階建て 浴室 1室 ・ 調理室 1室 建物床面積 393.7㎡ トイレ子ども用 3室 園庭 219.94㎡ 大人用 3室 事務室 1室 ・ 作業室 1室 職員休憩室（更衣室） 1室

③ 理念・基本方針

<p>【保育理念】</p> <ul style="list-style-type: none">●子どもたちの幸せを願い、愛情豊かな関わりの中から世の中を直視できる子どもの育みを大切にします。●保護者及び地域との連携を重んじ、子どもたちが安全且つ安心できる環境下でのびのびとした時間が過ごせる保育づくりを目指します。 <p>【保育方針】</p> <ul style="list-style-type: none">●3つの心を大切に考える保育<ul style="list-style-type: none">・人を思いやる心 ・仲間を大切にする心 ・礼儀を重んじる心●自立心の芽生え<ul style="list-style-type: none">・自分を表現でき、自分で考え行動できる子どもを育てます。●規範意識の育み<ul style="list-style-type: none">・善悪の判断ができ、世の中のルールに順応できる子どもの育みを大切にします。●あらゆる世界観の芽生え<ul style="list-style-type: none">・様々な世界に順応でき、あらゆる問題や困難と直面したときでも自分の考えで乗り越える精神力の育ちを支援します。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

【立地および施設の概要】

大曽根コスモス保育園は平成29年度、福岡県にある社会福祉法人聖会により1、2歳児10名ずつで開設され、令和2年に社会福祉法人コスモス福祉会に法人分割された認可保育園です。現在0～4歳児51名（年度限定児3名含む）が在籍しています。園舎は東急東横線綱島駅から徒歩10分、大曽根小学校の新築増設校舎1階と2階1部分にあり、近くには早濑川、近隣には大小様々な公園など豊かな自然に恵まれた環境にあります。

【園の特徴】

めまぐるしく変化する国際社会の中で、未来を見据え資源のない国に生まれた子どもたちに何を残すべきかを考え、それぞれの子もたちが、自分自身のアイデンティティを持ち、自分の言葉でしっかりと自分の意見が述べられる力、すなわち国際人として生きる力をつける為の手助けをすることを使命と考えます。そして、その使命実現の為、職員全員で心を込めて法人の目指す保育を実践します。

そこで日常の保育では、常に子どもたちが、受け身になることがないように子どもたちが「考える」ような言葉かけを意識し、保育を行っています。

また2才児から英語、3才児からダンス、4才児からヴァイオリンクラスがあり、早い時期から専門のプロの講師による本物体験を無料で行うことにより、全ての子どもたちが色々な自己表現を学ぶ機会が持てるようにしています。

姉妹園との交流や歩いて行けない公園に行き、世界観を広げることが、園バスを利用することによって実現できています。

多様な年齢層の保育士による、園内の公開保育で、お互いの保育を見せ合い自然に個々の保育を振り返り、他者の保育から学び、各自が成長できるシステム作りができています。また、各ミーティングや話し合いを通して保育士自身が自分の意見を言い易い環境も合わせて構築されることによって、保育士も受け身ではなく自分から発言したり、発信できるような組織作りが行われています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年 6月 24日（契約日） ～ 2021年 2月 26日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初 回（ 一 年度）

⑥ 総評

◇特に評価の高い点

1. 子どもの自主性、主体性を育てる保育

職員は、子どもの姿をよく観察し、活動の中で自らの立ち位置を考え、子どもの探索活動を見守りながら、子どもが自らやろうとする気持ちを大切に援助しています。遊具は子どもの成長に応じた安全なものを備え、遊びのコーナーが常設されており、子どもたちが自分のやりたい遊びに集中できる場所と時間を持つことができますようにしています。0、1歳児クラスでは食事時間になっても遊んでいる子どもに対し、職員は遊びの区切りがつくまで見守っていました。職員の「早く・急いで」とせかす態度、「だめ」などの否定的な言葉、静止させる言葉は、どのクラスにおいても見られませんでした。

2. 多角的な視点で評価する保育の振り返り

全職員は個々の目標を設定し、年度末に自己評価を行うとともに、上席評価、相互評価など立場の違う角度から評価を行う「360度評価」や、職員の職務に関する成果や貢献度を姉妹園の職員などが評価する「公開保育」を行っています。また、ビデオカメラを利用し、職員の行動を客観的にとらえ、職員の振り返りを行っています。ミーティングを多く持つことで主任を中心に副主任、乳児・幼児リーダー、クラス担任、非常勤職員へとPDCAサイクルにもとづく保育の質の向上が組織的に実施され、次期の計画に反映しています。園長は職員の日々の保育を見たり、職員との面談で目標達成度の評価を行っています。

3. 保護者に子どもの心の育ちの見通しを伝えるきめ細かな保育

2歳児から3歳児に上がる時の環境や保育における対応の変化、これから起こりうる子どもの心の変化など、子どもの育ちの見通しを進級説明会で保護者に伝え、保護者が安心して進級を迎えられるようにしています。また0~2歳児の保護者に対しては、日々の連絡帳アプリや送迎時のやり取り、懇談会を通じて、発達が著しいこの時期の保育の大切さを伝え、保護者の思いをくみ取り信頼関係を構築できるように努めています。3、4歳児の保護者に対しては送迎時に子どもの様子を伝えあい情報交換するとともに、アプリで保育の様子を写真で載せて園生活を伝えています。

◇改善を求められる点

1. 職員が主体的に自己の将来の姿を思い描ける中・長期計画の作成を

現法人として設立1年目のため、改善すべき課題について取り組みが始まったばかりです。職員が人材能力判断基準表にある職位ごとの役割責任や職位別に「求める成果・実績」「求める行動」「保育スキル・資格」についての理解を深めることが望まれます。さらに職員の自己評価の結果を基に中・長期計画を全職員で作上げていくことによって、職員一人ひとりが自らの将来の姿を思い描くことができるように、力をつけていくことが期待されます。

2. 就学に向けて「幼児期に育ってほしい10の姿」を見据えた保育の実践を

来年度から5歳児保育が実施されます。今年度の保育実践を踏まえて「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を全体的な計画の中に落とし込み、就学前までの子どもと体の育ちを見据えた保育内容（保育所保育指針に示された内容）を子どもたちが身につけられるような計画の立案が期待されます。また、小学校との連携や保護者との関わりについての取り組みを明確にし、小学校や他園との交流の機会を積極的に設け、実践されることが期待されます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

私が、初めて第三者評価受審したのは、今から6・7年前になりますが、今回は園長としての受審となりました。

その間世の中の変化と共に保育所保育指針の改訂もあり、働き方改革等で保育園の運営も大きく変わりました。

前回の受審の経験から第三者評価を受審する目的は、いい評価を得る事よりも、自分たちが現在行っている事の振り返りだと考えるようになりました。数々の設問に答えながら更なる改善改革を考え、手段や方法を調整することに意味があると思っています。

但し、今回も設問に答えながら、一つ一つに◎を付けるには、通常の保育を行いな

がら多くの案件を书面化し、働く職員と共感する為ミーティングの時間も取り、質の向上の為に園内外の研修の時間も取るとなると、働き方改革といわれながら矛盾を感じずにはられませんでした。

保育所の役割りは、これからの社会で必要不可欠なものであることは誰もが認めることでしょう。

そして保育所の平均的な質の向上は、全保育所が第三者評価を受審しなければ自治体から補助金が支給されないように強制義務とすべきだと考えます。

その為には前回は感じていましたが、今回も改訂されていない、この第三者評価が社会福祉施設という、ひとくくりの中で介護施設と保育所が、同じ設問であるのは、正しい評価には繋がらないと思いますので施設の用途に合った評価基準を考えて欲しいと思います。

保育所はサービス業ではありません。直接利用する子どもたちの横には保護者の存在があります。保護者との関係はパートナーであり、そのお子さんの最善の利益を考え共に子育てをしている事を忘れてはなりません。

受審後、沢山の気づきや改善をすることができました事を最後にお伝えいたします。そして今回もナルク様を通じて、きめ細やかな評価をしていただけましたことを心から感謝いたします。ありがとうございました。

大曽根コスモス保育園
園長：脇山恵子

⑧第三者評価結果
別紙2のとおり